

あらゆる出来事を力に変えて！

本日、例年とは異なる状況の中、激動の1学期が多くの方のご協力のおかげで無事に終了しました。はじめに、7月に発生しました熊本豪雨災害により、被害に遭われたご家庭やご親族の皆様に対しまして、心からお見舞いを申し上げます。被害を受けた地域では、浸水した家屋の後片付けや災害ごみの処分等、まだまだ時間がかかる状況ではありますが、一方で、仮設住宅の建設や災害証明書の発行等、明るい兆しも見え始めております。これから、復興へむけて、私たち一人一人ができることは何かを考えて行動していきたいものです。

今学期は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による臨時休業により、大幅な教育活動の見直しを余儀なくされました。例えば、体育大会は2学期に延期、生徒集会は各学級にて放送による開催、中体連大会は中止となり代替試合の開催等、例年とは異なる内容（短縮・縮小）で、どうにか実施できる方向を検討してきました。特に7月下旬からは、代替大会が順次開催され、本校生徒は今季、最初で最後の大会に挑み、素晴らしい活躍を見せてくれました。（代替大会特集は後日掲載）まだまだ、余談を許さない状況ではありますので、引き続き、全生徒・全職員で、三密を防ぐことやマスク着用、手洗い・うがい等を徹底して行い、より一層の感染拡大防止に努めていきたいと思っております。

今後の学校行事や学年の取組は、新型コロナウイルス感染症の状況次第で、その都度変更になる可能性が考えられます。変更になった場合は、早目にお知らせいたします。

学校運営協議会を開催しました！

7月29日（水）に第1回学校運営協議会を開催しました。本年度は、11名が委員に委嘱され、本協議会の会長に、早田和彦（一武）さんが指名されました。当日は、令和2年度の学校経営方針や年間活動計画等の説明を行い、承認をいただきました。会の後は、授業参観を行い、生徒の様子や校内の状況を参観いただき、貴重なご意見や感想をいただきました。今後、本協議会は2回の開催を予定しており、本校の取組に対しての評価や社会に貢献できる生徒の育成について、活動を進めていきます。



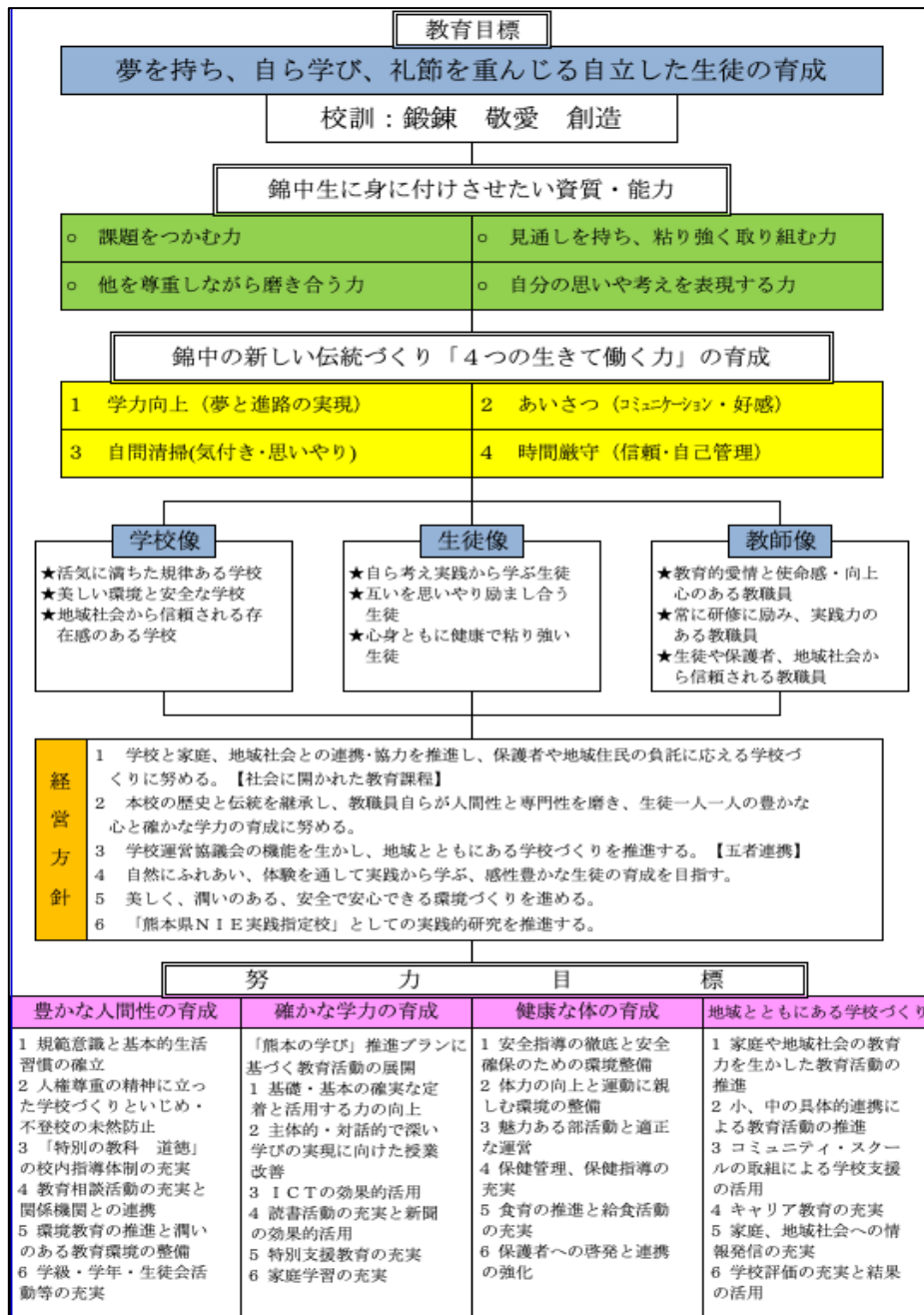
令和2年度 錦中学校学校運営協議会委員

1	早田 和彦(会長)
2	福山 大介(副会長)
3	小川 和子
4	石田 親子
5	久保田 健嗣
6	赤川 宗一郎
7	上田 あゆみ
8	那須 さとみ
9	酒井 勇一
10	木崎 正邦
11	有村 重幸

錦中のために頑張ります！

～令和2年度錦中学校学校経営方針について～

今年度の錦中学校の学校教育目標は、「夢を持ち、自ら学び、礼節を重んじる自立した生徒の育成」です。大人へ向けて方法ややり方を身に付けて「自立した」生徒を目指すため、「自立した」を付け加えました。この経営方針のもと、錦中学校の教育活動が展開されています。



「錦中生に身に付けさせたい資質・能力」については、今年度新しく設定した項目です。1「課題をつかむ力」、2「見通しを持ち、粘り強く取り組む力」、3「他を尊重しながら磨き合う力」、4「自分の思いや考えを表現する力」となり、生徒が自己をみつめ課題を理解することで、課題に向かって粘り強く努力する。また、他の人と切磋琢磨し、お互いの力を伸ばす。自分の思いや考えをあらゆる場で表現する力を育成します。

「錦中生の新しい伝統づくり『4つの生きて働く力』の育成」については、昨年度から、設定してありますが、生徒が自分を見つめる時間とするため、「無言清掃」から「自問清掃」に、今年度新しく変更しました。4つの生きて働く力は、生徒が生活の中で意識し、質をあげて取り組んでほしい事項になります。

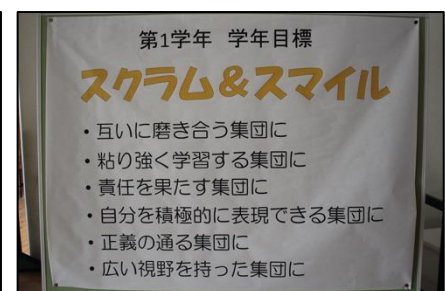
上の教育目標を達成するために、各学年では、下のような学年目標を設定し、学級経営に努めています。目標には各学年の特徴が見られ、様々な活動の中に学年目標が示されます。1年間、取組を充実させます。



第3学年目標



第2学年目標



第1学年目標